

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年6月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アイオワ大学 現地言語: The University of Iowa
留学期間	2019年8月～2020年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	College of Liberal Arts and Sciences <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年5月15日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬～12月中旬 2 学期:1月中旬～5月中旬 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 33,000 名
創立年	1847 年

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	5,785	625,000 円	ダブル・スイート(早期帰国分返金)
食費	2,555	280,000 円	ミールプラン(早期帰国分返金)
図書費	181	20,000 円	
学用品費	272	30,000 円	
携帯・インターネット費	270	30,000 円	
現地交通費	145	16,000 円	大学まで無料バス( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200	22,100 円	
被服費	800	88,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	3,000	330,000 円	形態:明大サポート・アイオワ大学 SHIP
渡航旅費	3,227	355,000 円	緊急帰国のため往復券+帰国分を別購入
ビザ申請費	390	43,000 円	
雑費	1,818	200,000 円	旅行費等
その他	895	101,179 円	別送品郵送代
その他		円	
<b>合計</b>	<b>19,538</b>	<b>2,110,279 円</b>	

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:HND(羽田空港) 目的地:CID(イースタンアイオワ空港) 経由地:ORD(シカゴ オヘア国際空港)  
 復路 出発地:CID 目的地:NRT(成田空港) 経由地:DEN(デンバー国際空港)

## 渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:HIS  
 料金:¥262,000

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:\_\_\_\_\_ 料金:\_\_\_\_\_  
 復路 航空会社:United/ANA 料金:\$614 \_\_\_\_\_ ∴合計:\_\_\_\_\_

## 航空券購入方法

旅行代理店(店名:HIS) インターネット(サイト名:United) その他(\_\_\_\_\_)

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Mayflower Hall) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 ルームメイト1名, スイートメイト2名 \_\_\_\_\_)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

アイオワ大学の Housing ウェブサイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

バス・トイレ・キッチンは部屋とつながっており、ルームメイトとスイートメイトのみとの共有になるため、清潔で快適でした。ルームメイトたちとはとても良い友人関係を築くことができ、寮生活自体がとても楽しい思い出になりました。Mayflower Hallはキャンパスから徒歩25分ほどと、他の寮に比べて少し遠いのですが、無料の大学バスが運行しているため通学に大きな影響はありません。初めは入居する寮が Mayflower に指定されているかと思いますが、部屋が割り振られた後に寮や部屋のタイプを変更することもできます。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所:\_\_\_\_\_)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等:新型コロナウイルスの感染拡大に伴う帰国に関して。両親・現地の友人・明治大学から他校に協定留学している友人に相談しました。)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学からのメール・大学と提携している危険情報配信サービスからのメール。実際にトラブルに巻き込まれたことはありません。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

寮を含め、キャンパス全域で大学関係者向け Wi-Fi の利用が可能です。接続状況は良好で、ネットワーク環境に困ったことはありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?

現地で銀行口座を開設し、海外キャッシングサービスを利用して入金していました。パスポートとアイオワ大学の学生証の提示で、即日無料で開設することができます。日本から持参したクレジットカードも併用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

常備薬、ごはんパック等簡易日本食(現地のアジア系マーケットで買えますが値段は倍です)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか? いいえ	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Asian Humanities: Japan	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (stand-alone)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Prof. Kendall Heitzman
授業内容	日本書紀に始まり近現代までの日本文学について学びます。日本の歴史や文化的背景を追いながら、日本文学の特徴をみていきます。
試験・課題など	数週間に 1 度授業内容の復習のためのクイズ。期末試験期間にファイナルエッセイの提出。大きな試験は無し。課外でイベントに参加し、短い感想文の提出。授業時間外に映画の鑑賞 2 回。
感想を自由記入	現地の学生向けの英語の授業なので、日本文学を英語で読むという新しい経験をすることができました。既に知っている内容もありますが、新しい知識も得られます。また、学生たちの質問や教授のお話がとても興味深かったので、退屈することはありません楽しく受講していました。教授もクラスメイトも日本のことが大好きで、私の発言にも興味を持ち耳を傾けてくださったので、友達作りの機会やアイオワの授業に慣れる練習の場としてもとても良いクラスだったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sex & Popular Culture in America	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Prof. Naomi Greyser
授業内容	アメリカにおける性やジェンダー、恋愛観とポップカルチャーについて学びます。映画や広告などのメディア分析にも軽く触れました。
試験・課題など	Midterm は選択問題と記述問題があります。Final はグループワークのプレゼンテーションです。普段のリーディングは主にウェブ上の記事をいくつか課されるだけなので、他のクラスに比べると少なく感じます。学期中に 2 冊の課題図書を読みます。
感想を自由記入	メディアや Hookup culture から Gender, Sexuality, Disability などまで、幅広いトピックについて学ぶことができます。現代のアメリカの文化に興味があるので、とても面白い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Prof. Michael Lovaglia
授業内容	社会学への入門。社会学の歴史から現代社会における問題まで、社会学の基礎を学びます。
試験・課題など	試験は midterm が 2 回と final で、全てマークシート方式でした。エッセイの課題が 3 つほどあります。リーディングは1週間に 1~2 チャプターほどです。ドキュメンタリー映画を視聴し感想を書くエッセイもありました。
感想を自由記入	教授がとても面白い方で、語りを聞いているだけでも楽しい授業でした。アメリカ社会や政治の問題について触れるので、アメリカで育っていない私にとっては難しいトピックも多かったですが、とても勉強になりました。リーディングの量が多く、テストは暗記事項が大量にあるので苦労しましたが、それだけ学ぶことも多かったため履修して良かったと思える授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Anthropology	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Prof. Meena Khandelwal
授業内容	文化人類学入門。人類学の歴史にはじまり、テキストに沿って人類学に関わる主なトピックについて学びます。
試験・課題など	試験は midterm が 2 回と final です。課題図書が 3 冊ありました。
感想を自由記入	とにかくリーディングが多いです。普通の授業では読み終わらないまま参加することもあるほどで、留学で一番大変な授業でした。教授がインドとその周辺諸国についての研究をされている方なので、取り上げられる内容も南アジア寄りのものが若干多いです。人類学の基礎をしっかりと学べます。結果的にタメになった授業でしたが、大変さが割りに合わないため好き嫌いは分かれると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Film Studies	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション、スクリーニング(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Dr. Andrew Owens
授業内容	映画の撮影技法や、映画を形作る要素について学びます。毎週授業時間外に参加必須のスクリーニングが課されます。
試験・課題など	Midterm 1 回と Final があります。形式は四択問題、穴埋め、ショートエッセイ 2 つと少しペーパーですが、しっかり授業を受けて準備をしておけば大丈夫です。隔週でクイズがあります。
感想を自由記入	Dr. Owens の授業は、個人的に留学の中で一番興味深い授業でした。クラス内では生徒の活発な発言が求められ、先生と生徒たちの掛け合いもとても面白いです。映画に興味のある人には心からお勧めしたいクラスです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Cinema	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション、スクリーニング(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Andrew Owens
授業内容	1960 年代以降の映画について扱う授業で、世界の映画産業の歴史についても学べます。担当教授が同じなため、上に書いたもうひとつの映画の授業と重複する内容もありました。
試験・課題など	Midterm1 回と Final があります。形式は四択問題、穴埋め、ショートエッセイ 2 つと少しヘビーですが、しっかり授業を受けて準備をしておけば大丈夫です。隔週でクイズがあります。
感想を自由記入	試験の週が重なってしまい大変なので、intro to film と contemporary cinema を両方履修したい場合は、1 学期にひとつずつ取ることをおすすめします。こちらの授業も留学中で一番面白い授業でした。とてもお勧めです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary Psychology	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Prof. Eliot Hazeltine
授業内容	心理学入門。心理学の歴史や脳科学の基礎、心理学の代表的な研究について学びます。
試験・課題など	マークシート形式の Midterm が 2 回と Final があります。エッセイの提出は 2 回です。1 週間に 1 チャプター教科書を読み進めていき、隔週ほどでオンラインのクイズがあります。
感想を自由記入	専門用語が難しく慣れるまで苦労しましたが、脳のはたらきなど理系寄りの内容にも触れることができ勉強になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media Uses and Effects	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッションセッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Prof. Kajsa Dalrymple
授業内容	メディアが人に与える影響について学びます。これまでに行われた研究や、メディアの影響に関する学説を扱います。
試験・課題など	試験は Midterm3 回と Final、大きな課題はエッセイの提出が 2 回あります。毎週、教科書や文献を読んで質問に答える形式のリアクションペーパーの提出があります。リーディングは1週間に教科書を 1 chapter 読み進めるくらいのペースです。
感想を自由記入	テレビや SNS がわたしたちに与える影響について深く理解することができました。教授はとても優しい方で、講義も比較的簡単だと感じました。メディア学を学びたい人におすすめです。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	TOEFL iTP 受験に向けた英語学習
4月～7月	TOEFL iTP 受験
8月～9月	TOEFL iTP 受験・留学先志望校決定のためのリサーチ
10月～12月	TOEFL iTP 受験 留学出願書類作成・提出 面接、留学先決定
2019年 1月～3月	留学奨学金申請・留学オリエンテーション 留学先への書類提出・寮の申請
4月～7月	ビザ申請・保険申込 出発前留学オリエンテーション
8月～9月	留学開始 新入生オリエンテーション・履修登録・ツベルクリン検査・English Proficiency Exam
10月～12月	中間試験・Homecoming Week Thanksgiving Break 期末試験・冬休み
2020年 1月～3月	冬休み Dance Marathon・中間試験・春休み 新型コロナウイルスの影響により早期帰国(3月末)
4月～7月	アイオワ大学 オンライン授業開始 期末試験(5月中旬) 帰国届、留学報告書等の書類提出
8月～9月	3年秋学期より明治大学に復学
10月～12月	

## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学先を選ぶ際に私が重視したことは、自分が学びたいトピックについての授業やプログラムがその大学で充実しているか否かという点です。留学先で過ごす時間の多くは授業と自習時間になるので、出願前から留学で何を学びたいかを明確にし、満足のいく学びができる留学先を選ぶことはとても重要だと考えます。アメリカの大学では、1学期の履修数は約6科目が限界です。限られたコマ数を最大限に活用して学ぶためにも、事前のリサーチで学習計画を考え始めると良いと思います。アイオワ大学は学術レベルが高く、様々な分野の学問について学ぶことができますが、特にクリエイティブライティングのプログラムに定評があります。また、それに関連して映画関連やパフォーマンスも有名です。このように、それぞれの大学の強みや特色を調べておくと、より自分に合った留学先を見つけることに役立つと思います。

家族や友達、住み慣れた日本から離れ、見ず知らずのルームメイトと生活を送ることを想像することに不安はつきものだと思います。私自身も、出発前までは膨大な不安や疑問を抱えていました。しかし、留学先のオリエンテーションが始まった日から徐々に友達は増え、今では大切な親友たちである人たちに会い、最後には心の底から帰りたくないと思えるほどアイオワが大好きになっていました。もちろん、留学中には辛いこともあります。特に最初の数カ月は孤独感も感じましたし、英語力の不足を実感して自分に失望したり、膨大な勉強量とプレッシャーにひたすら耐えなければならなかったりする時もありました。その一方で、留学中には自分としっかりと向き合い困難を乗り越えることや、困った時には友人たちに頼ることを学び、人としてたくさん成長しました。そのときに辛かったことも、後から思い返してみれば全てが貴重で大切な経験となっているはずで、そして、そういった経験があるからこそ楽しい出来事がより輝いて見えるのだと、この留学を通して改めて実感しました。これから留学を志すみなさんにも、ぜひ様々な壁を乗り越えて素敵な経験をしてもらいたいと思います。頑張ってください。

